

入院患者におけるインフルエンザ感染収束について

令和5年11月28日にお知らせいたしました「入院患者におけるインフルエンザ感染」につきまして、11月30日以降新たな感染の発生もなく、感染した患者も最後の1名が12月12日をもって解熱し、全員無事に回復いたしましたので本件は収束したものと判断いたします。

このたびは関係者の方々に、多大なご心配をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

職員一同、今後、より一層の感染対策に努めてまいります。

令和5年12月19日

独立行政法人国立病院機構東埼玉病院

院長 太田 康 男